



学校教育目標

豊かな心を持ち、自ら学ぶ、たくましい子どもの育成

# 藤崎小だより



令和3年6月25日  
第3号

## みんなで見つめる藤崎小のよさ～創立記念日によせて～

東北地方もいよいよ梅雨入りし、少しずつ蒸し暑さが増してきましたが、子どもたちは、変わらず元気いっぱい学校生活を送っています。

さて、今週の月曜日「6月21日」は、藤崎小学校の8回目の創立記念日ということで、全校朝会を開き、「藤崎小学校のよさ」について、6年生に回答してもらったアンケートをもとにお話をしました。アンケートの内容は、「藤崎小学校のここがいい、自慢だ、好きだ」というところを書いてもらうというものでした。一番長くこの学校で過ごしてきた子どもたちが感じているよさを全校で共有することを通して、一人一人に自分たちの学校のよさをあらためて考えてほしいと思ったからです。

6年生があげてくれたよさは、目に見えるもの、見えないもの様々でしたが、中でも多くの子があげたのが次の4つのことでした。



やさしい友だちがたくさんいて、お互いを思いやれるから仲がよくなり、笑顔いっぱい明るいあいさつが飛び交う・・・穏やかで温かな学校の姿が見えてきます。これらは、本校の子どもたちや卒業生（前身の学校の卒業生も含めて）が築いてきた「校風」であり、みんなが自覚し大切にしていくことで、さらに誇れるものになっていくものだと考えます。最上級生の目に映る学校が、こんな素敵な学校であることを大変うれしく思いました。

6年生があげてくれたよさは、この他にもたくさんありました。一部ですが紹介します。

みんな元気がいい 運動好きな人が多い 勉強をみんなと教え合える 協力できる 励まし合える 失敗しても大丈夫 目標に向かっていく 自然豊かな学校 鳥海山がよく見える 花がたくさんある 好きな場所がいろいろある(図書室、6年教室、グラウンド、体育館、中庭の木) いろいろな活動・行事がある 給食がおいしい 地域の人に親しまれている 地域の人と交流できる時間がある いて楽しい 空気が落ち着く また学校に行きたいと思える いつでも来なくなる など

本校は、あと1年と9ヶ月ほどで閉校となります。6年生は卒業まで、1～5年生は閉校までの限られた時間ではありますが、藤崎小学校の校風を大切に守るとともに、私たちの学校の様々なよさを生かしてできることややってみたいこと、心に残る活動を子どもたちのアイディアで実行し、思い出と自信にしていってほしいと思っています。

校長 富樫 由紀子

# 水泳の学習が始まりました！～2年ぶりのプール～

昨年度は、スポーツ庁や県の方針に基づき水泳の学習は行いませんでしたが、今年度はスポーツ庁から示されている下記のような感染対策をとりながら実施することとなりました。

さっそく、4～6年生の子どもたちがプール清掃を行い、2年間分の汚れをととてもきれいにしてくれました。

子どもたちの頑張りのおかげで、11日にプール開きを行い、先週より本格的に水泳の学習が始まりました。

2年ぶりということもあるためか、子どもたちの楽しそうな表情が例年以上にあふれています。



- 1 着替え場所は、複数に分散し、着替え中は、不必要な会話や発声をしないように指導する。マスクをしたまま着替える。
- 2 プール内においても不必要な会話や発声を行わないよう指導する。プール内で密集しないよう、一斉に大人数が入らないようにする。プール内やプールサイドでは2m以上の間隔を開ける。
- 3 授業中、手をつないだり、体を支えたりするなど、密接する活動は避ける。

## 学習林環境整備作業 ありがとうございました

5月30日は、PTA学習林環境整備作業でした。日曜の早朝にもかかわらず、また、お忙しい中、砂丘地砂防林環境整備推進協議会・区長・保護者の皆様から参加していただき、きれいに下草を刈っていただきました。ご協力誠にありがとうございました。

今回はコロナ感染症予防の観点より、残念ながら、子どもたちは参加することはできませんでしたが、これからの総合的な学習の時間の学びを通して、クロマツを大切にすることを育んでいきたいと思えます。

## 交通安全優良学校の 表彰を受けました！

学校・児童・地域が一体となって、交通安全運動をすすめ、交通事故防止に努めてきたことが認められ、酒田警察署より表彰を受けました。

特に、「藤崎っ子見守り隊」の皆様には、長年にわたり子どもたちの交通安全にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。今後もよろしく願います。



## 子育て講演会においでください

◇期 日 令和3年7月3日(土)

◇時 間 9:40～11:10

※授業参観 8:45～9:30(西遊佐地区の方)

11:15～12:00(稲川地区の方)

◇会 場 本校体育館

◇演題:「子どものミカタ、見方を変えて味方になろう」

◇講師:木村 智則 先生

山形県立こころの医療センター 主任公認心理師



今年度も地域の皆さんと一緒に校地内の環境を整備する「ふれあいボランティア」を行っています。毎回、たくさんの方々においでいただき、子どもたちも張り切って活動しています。